

はぴふる

便利でたのしいSDGsって
なんだろう？



はなしずめまつり
花鎮祭

詳細は2ページへ

もくじ

- ▶ 「持続可能な社会」ってどんな社会？Vol.2 ……P.2・3
- ▶ 支え合いの現場からVol.3 ……P.4
- ▶ フォーラムのお知らせ ……P.4
- ▶ 赤い羽根共同募金へのご協力のお願ひ ……P.4

No.44 中央区 社協だより
2021.9

支え合いの 現場から

Vol.3

中央区
寄居・柳都園域

地域の見守り活動
しもまちお互いさまく



▲会員優待クーポン。



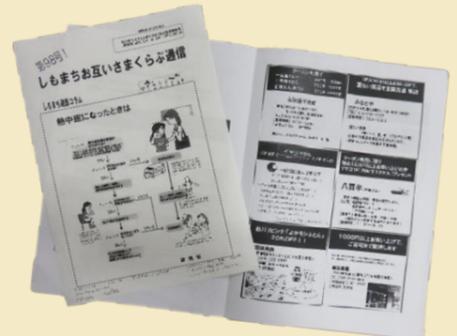
▲ボランティアが訪問。



中央区栄地区に「しもまちお互いさまくらぶ」がある。住民の買い物支援と見守りを目的に、住民と地元商店などが連携しておこなわれているこの事業。支え合いの気持ちを実を結び、今年で9年目を迎えることとなった。

しもまちお互いさまクラブの会員になると、ボランティアスタッフからお役立ち情報盛りだくさんの「かわら版」を受け取れるほか、地元商店からの割引や宅配サービスなどうれしい特典が利用できる。また、しもまちお互いさまくらぶは地域包括支援センターとも連携しているため、有事の際にも安心感がある。

月に一度かわら版を持ったボランティアスタッフが会員宅を訪問すると、「元気ですか」「いつもありがとね」と気心の知れた会話が自然に生まれる。超高齢社会における地域の特性・つながりを活かした見守り事業として、ますます活躍が期待される。



▲役立つ情報満載のかわら版を発行。



新潟県共同募金会HPに
共同募金情報を掲載中！



今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。地域活動や被災地支援などに役立てられるこの募金。地域の皆さまのご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金へのご協力のお願ひ

あの方々の
レアなお話が
聴けちゃうかも…

中央区社協HPにて
最新情報を掲載予定！



詳細決定後、ご案内します。最新情報はホームページで更新予定！（状況により中止の可能性あります）

日時：令和3年11月27日（土）
会場：新潟市民プラザ

中央区地域福祉推進
フォーラムのお知らせ

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 中央区社会福祉協議会

ちゅうおうくしゃかいふくしきょうぎかい

〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町909番地C o - C.G. (コシジ) 3階
MAIL chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp
TEL 025-210-8720 FAX 025-210-8722

お車でお越しの場合は
市営西堀地下駐車場を
ご利用ください

☞ホームページでも
最新情報を更新中です



「持続可能な社会」ってどんな社会？

- Vol.2

願いをこめて…

前号ではSDGs（持続可能な開発目標）の基本と中央区社協の取組みについて取り上げた。今回はまちなかのSDGsに目を向けてみる。たのしくおで得で便利な2つの取組みをご紹介します。今まで意識したことのないようなことも、実は地球のためになっていくかもしれない。



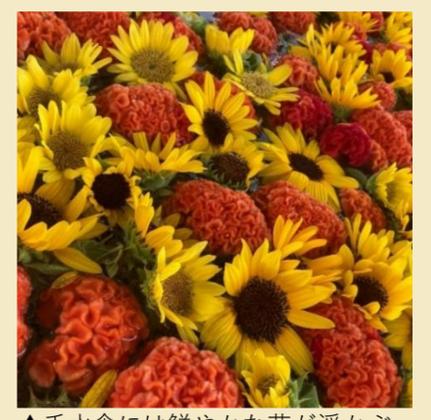
▲花鎮祭とは平安時代から続く疫病息災の神事。

花鎮祭 はなしずめまつり 一般社団法人新潟青年会議所

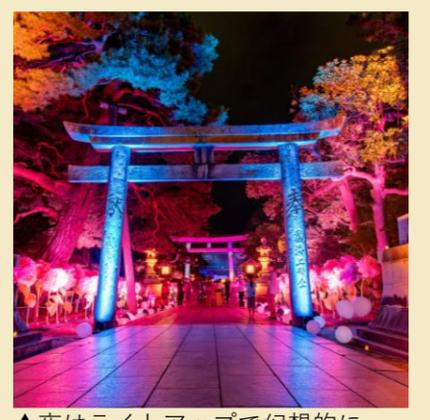
8月27日（金）、白山神社にて花鎮祭が始まった。新潟青年会議所が企画したもので、8月29日（日）までの3日間開催された。

コロナ禍でも子どもたちを笑顔にしたい！元気にしたい！新潟のまちを盛り上げたい！という想いから立ち上がったこのプロジェクト。当日はフラワーアートや花水の展示、ライトアップなど密を避けつつ楽しめるイベントが盛りだくさん。フラワーアートは可能な限り廃棄紙で作られた折り紙の花を利用した地球にやさしいエコなアート。この製作には新潟市内のひまわりクラブや子ども食堂などを通して多くの子どもたちが参加しており、いまを生きる彼らの願い・祈りが込められていた。祭での展示後、一人ひとりが作り上げた折り紙の花は一つのアート作品となり、白山神社へ奉納された。

コロナ禍だからこそ、たくさんの方の力を想い一つにして「新しい祭」が生み出された。苦しいはまだけど、いまだからできること・いましかできないことをやる。おとなたちの熱い想いは子どもたちにも伝わったはず。新潟の子どもたちにとって花鎮祭はふるさとのあたたかさや包まれる特別な夏の思い出となったことだろう。

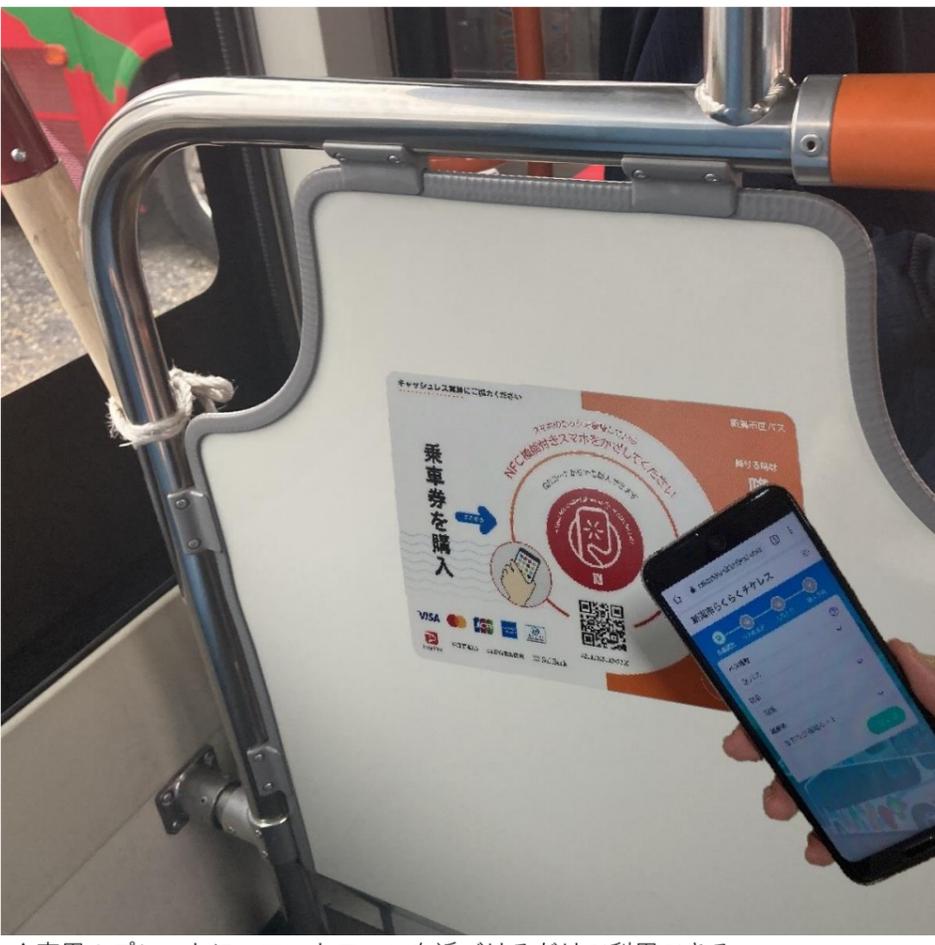


▲手水舎には鮮やかな花が浮かぶ。



▲夜はライトアップで幻想的に。

小銭がなくても
バスに乗れちゃうの？



▲専用のプレートにスマートフォンを近づけるだけで利用できる。

新潟市らくらくチケレス (バスキャッシュレス決済)

新潟市ではバス運賃をキャッシュレスで支払えるシステム「新潟市らくらくチケレス（以下、らくチケ）」を新潟市観光循環バス、秋葉区バス、南区バスのまちなか循環ルートに導入した。

利用方法は、観光循環バスでは乗車券販売所、区バスでは停留所や車内にそれぞれ設置してある専用のプレートにスマートフォンを近づけるだけ。感染症拡大の要因となる接触の機会を減らす他、運賃用の小銭が不要になり、非常に便利。加えて、「らくチケ」でバスに乗った後は対象施設の割引が受けられるクーポンも発行されるのでとってもお得！キャッシュレスって難しそう…という方もいるかもしれないが、この「らくチケ」はアプリのダウンロードが不要。専用サイト内での操作のみなので簡単に利用できる。子どもからお年寄りまで多くの人がスマートフォンを持つようになり、まちの至るところでキャッシュレス決済を目にすることが増えてきた。また環境問題や痛ましい交通事故などをきっかけに公共交通の重要性が見直され始めている。普段バスを利用しないという方も、これを機にバスに乗り、「らくチケ」活用してみてください。

たのしみながら
触れてみよう。

中央区社協もみなさんと一緒にSDGsに取り組みます

まちのあちこちにあふれるSDGs。まずは難しく考えず楽しみながらSDGsに触れてみよう。

